

大久保和郎 （和名） 翻譯家。大正十一年十一月一日東京生れ、昭和五十年一月二十日没（一九三一至）。フランス文學翻譯家八木さゆ子は母。慶應義塾大學文學部中退。フランス語、ドイツ語、英語に精通。

譯書の「ドイツ小説集（カントよりヴァイクナーまで）」、「片山敏彦共譯、昭和二十五年一月二十日みず書房」、ツワイク作「或る心の破滅」（昭和二十五年四月二十日蒼樹社「蒼樹選書」）、「ドイツ小説選」（合譯・手塚富雄編、昭和二十五年九月五日筑摩書房「中學生全集」）、「アルブレース著「二十世紀の知的冒險」全二冊（上巻・昭和二十七年二月十五日、下巻・二十八年八月みず書房）」、「ボーザオワール著「實存主義と常識」（小野敏子共譯、昭和二十七年十一月十日創元社）、「シエテファン・ツヴァイク作「忘れじの面影」（昭和二十九年五月二十五日二密書房）、「ジャン・カスー著「近代芸術の状況」（瀧口修造共訳、昭和二十一年六月十日京都・人文書院）、「フランス・ノリ作「十六才」（昭和二十一年六月二十五日新潮社「Romain D'Amour」）、「ミシエル・ラゴン作「たまし絵」（昭和二十五年八月二十五日河出書房新社）、「ドーデ作「風車小屋だより」（昭和四十三年六月一日旺文社「旺文社文庫・特製版」）等。

